

## 滋賀県における縄文時代早期後葉～前期前葉遺跡の集成

小島孝修

### 目次

1. はじめに
2. 集成の方法
3. 集成した遺跡の様相
4. 滋賀県における縄文時代早期末～前期初頭
5. おわりに

### — 論文要旨 —

2021年に開催された関西縄文文化研究会大会は、「本州西部の縄文早期末前期初頭土器編年」をテーマとしたが、コロナ禍のためオンラインでの開催となり、各府県集成の作成・刊行が見送られた。本稿ではこれを契機として、滋賀県における当該期を含む縄文時代早期後葉～前期前葉の遺跡を集成し、その様相を概観した。集成した33遺跡の多くが琵琶湖岸に立地し、とくに3つの地域で集中して分布する状況が再確認できた。さらに、当該期の土器様相の流れを俯瞰したうえで、とくに問題となっている縄文時代早期末～前期初頭においてみられる、いわゆる一乗寺南地点下層資料に類似する資料を集成した。

### ——— キーワード

縄文時代早期末～前期初頭 条痕文系土器 東海条痕文系土器 栗津SZ1群土器 一乗寺南地点下層資料